

二葉 東京支部だより

世代を超えて絆を深めよう

東京支部長 内田志づ子



昨年に引き
続き、諏訪二
葉高校同窓会
東京支部長を
務めさせてい
ただく内田

(旧姓上條)です。よろしくお願
いします。

二葉高校同窓会東京支部は毎年五
月に、定期総会を開催しています。
この会は二葉の同窓会支部として
は最大規模を誇り、関東を中心と
した二葉卒業生の親睦を深める機
会となっております。

参加者の年齢層は80代から40代
位まで、総勢160名、200名位の方
集います。

参加して驚くのは、二葉卒業生
の方々の若々しさとその澁刺とし
た生き方です。60代になった私な
ど世間的にみればもう相当な先輩
の部類に入ると思いきや、二葉同
窓会ではほんのひよっこの部類に
入ります。大先輩たちは仕事や家
庭を充実させながら、育児や介護
をやり尽くした自信、地域活動へ
の貢献、多彩な趣味を究めた豊か
さなど、年を経てより輝いて見え
ます。

まさに女性は年を重ねるほど、
美しくなるというのが実感できる

のです。男性会員の多い他校の同
窓会と違い、華やかで活き活きし
ているようにみえるのは気のせい
でしょうか。参加した若い(50代
以下?)会員たちはみな、元気を
もらっています。

昨年度、東京支部は会をより活
性化させようと、親睦を軸にした
柔軟な同窓会運営と役員のスム
ズな引継を図り、改革をすすめた
した。おかげさまで、総会の他に
幹事会においても特別講演会を実
施するなど、会員の交流の機会を
増やすことができました。今年度
も優秀な若い世代の役員達がいろ
いろなアイデアを出しながら、会
の運営に携わっています。何より
も、東京支部を60年以上にわたっ
て継続し、支えてきて下さった大
先輩の皆さんにこの活動を支援し
ていただき心強い限りです。

同窓会への考え方はいろいろあ
つてよい、まずは、総会や幹事会、
同期会や支部の企画行事に気軽に
参加してみませんか。

人生の時間は限られている中で、
東京(関東)に来たからこそ、新
たに芽生える故郷意識もあります。
母校を同じくすること、この一
点でネットワークを抜け、豊かで
心温まる絆を創り上げましょう。

平成25年 総会報告

東京支部副支部長
伊東みふね

平成25年5月21日(火)東京支
部総会が日本青年館にて開催され
ました。出席者164名、来賓として
母校五味千人校長先生、本部よ
り矢崎同窓会長、常田副会長、五
味副会長、松澤副会長、恩師の平
島佐一先生にお越しいただきまし
た。

大竹副支部長の開会挨拶、校歌
斉唱、続いて24年度物故者の皆様
に謹んで黙祷を捧げました。

議事に先立ち、内田支部長より
挨拶。24年度は今までの支部の活
動を時代に即応して改革する時期
であり実践した旨の報告。役員
の負担の軽減、会則の見直し、楽し
い同窓会を目指しての新企画とし
て2月の拡大幹事会に石飛幸三先
生の講演を企画、今まで3月に発
行されていた支部便りを10月20日
に発行、なおかつ会員約3700
名全員に送付、名簿の整理、等。

五味校長先生からは、懐かしい
校章と健やか像の表紙の「25年度
諏訪二葉高校近況」が配られました。
校長先生の生徒の実態、進路
状況などの力強いお話に若者たち
の活気ある様子が伺えました。女
子生徒と男子生徒の割合が6対4

だそうです。

議事は、議長に安田早苗さん
(21回生)が選任され、24年度事
業報告、決算報告、監査報告、25
年度役員承認、事業計画、予算、
規則、内規一部改正等が承認され
ました。

午後の第2部は柳谷郁子さん
(8回生)の講演「望郷 姫路広
畑俘虜収容所通譯日記」も私たち
は何を知っていたか〜に聞き入り
ました。

第3部茶話会では高校4回生の
15名(1名欠席)の皆様の八十歳
をお祝いし花束を贈呈しました。
皆様がお元気で何よりお綺麗なこ
とに感動し、私達も美しく年を重
ねたいと思いました。

最後に「白き翼」を歌い閉会し
ました。総会がスムーズに進行で
きましたことを、役員一同心より
お礼申し上げます。

祝 傘寿 (P5に続く)



平成24年度諏訪二葉高等学校同窓会東京支部決算報告

(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

1. 本会計

〈収入の部〉

(単位：円)

項目	予算	収入	備考
1 前年度繰越金	3,295,252	3,295,252	
2 維持費	1,200,000	1,724,000	
3 寄付金等	0	32,000	(故)馬場利子様、高校3回生有志、8回生有志
4 雑収入	1,000	632	貯金利息
収入合計	4,496,252	5,051,884	

〈支出の部〉

(単位：円)

項目	予算	支出	備考
1 総会 講師謝礼・お車代	120,000	120,000	遠藤真弓様
会場費・諸経費	100,000	84,510	総会資料印刷代・会場費等
2 支部便り作成費	140,000	145,661	「二葉」第17号、3700部
3 弔慰金	10,000	1,800	弔電レタックス
4 役員通信費・交通費	160,000	121,790	役員通信費53000、役員交通費68790
5 役員会費	140,000	96,185	役員会7回
6 幹事会費	220,000	311,000	幹事会2回
7 送料・通信費	300,000	568,296	総会案内送料、宅急便、はがき代等
8 印刷・コピー費	140,000	64,591	封筒、総会案内・資料の印刷・用紙・コピー代
9 事務用品費	10,000	940	USBメモリー
10 渉外 二葉関係 連合同窓会	30,000	22,680	本部総会交通費
100,000	90,140	東京同窓連、南信同窓連	
11 雑費・予備費	10,000	14,930	振込用紙印字代等 名簿整理御礼
支出小計	1,480,000	1,642,523	
12 東京支部同窓会基金積立金	230,000	230,000	
13 次年度繰越金	2,786,252	3,179,361	
支出合計	4,496,252	5,051,884	

平成25年度 東京支部予算

(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

1. 本会計

〈収入の部〉

(単位：円)

項目	予算	備考
1 前年度(24年度)繰越金	3,179,361	
2 維持費	1,200,000	
3 寄付金等	0	
4 雑収入	1,000	貯金利息
収入合計	4,380,361	

〈支出の部〉

(単位：円)

項目	予算	備考
1 総会 講師謝礼・お車代	130,000	
会場費・諸経費	170,000	総会資料、案内印刷費、会場機器代等
2 支部便り作成費	140,000	支部便り印刷費、通信費等
3 弔慰金	10,000	弔文レタックス
4 役員通信費・交通費	160,000	役員通信費 53,000 円、交通費 107,000 円
5 役員会費	140,000	役員会、会場費(土、日、に役員会開催の場合)
6 幹事会費	220,000	幹事会2回分
7 送料・通信費	350,000	総会・幹事会案内送料、宅配便
8 印刷・コピー費	140,000	封筒・資料印刷、用紙、インク代、コピー代
9 事務用品費	10,000	
10 渉外 二葉関係 連合同窓会	30,000	本部総会交通費
100,000	東京同窓連、南信同窓連関連費用	
11 雑費・予備費	10,000	維持費振込用紙印字代他
支出小計	1,610,000	
12 東京支部同窓会基金積立金	0	
13 次年度(25年度)繰越金	2,770,361	
支出合計	4,380,361	

2. 東京支部同窓会基金

(単位：円)

項目	予算額	備考
1 前年度繰越金	3,052,000	
2 25年度積立金	0	
合計	3,052,000	

2. 東京支部同窓会基金

(単位：円)

項目	予算額	実行額	備考
1 前年度繰越金	2,822,000	2,822,000	
2 24年度積立金	230,000	230,000	
合計	3,052,000	3,052,000	次年度繰越金

上記の通りご報告いたします。 上記は会計監査の結果間違い
平成25年3月31日 ありません。

会計係 竹内 誠子 ㊞ 平成25年4月10日
村松 多寿子 ㊞ 会計監査 常松 竜子 ㊞
秦 礼子 ㊞

平成25年 東京支部総会会計報告

平成25年5月21日 開催

〈収入の部〉

(単位：円)

項目	金額
1 会費(5000円×163・1000×26)	841,000
2 御祝儀	20,000
3 本会計より	180,811
合計	1,041,811

〈支出の部〉

(単位：円)

項目	実行額
1 講師謝礼・お車代(柳谷郁子様)	130,000
2 シダックスレストランマネジメント支払	786,277
3 お礼(日本青年館へ)	10,000
4 総会冊子代(300冊)	69,300
5 雑費(花東15他)	46,234
合計	1,059,510

上記の通りご報告いたします。 平成25年6月1日
24年度会計 竹内 誠子 ㊞
村松 多寿子 ㊞

平成25年度 諏訪二葉高校同窓会東京支部事業計画

平成25年9月現在

1 主な会議・会合

- ・5月21日(火)平成25年度 定期総会
6/25(火)、7/30(火)、9/25(水)、11/26(火)、
1/17(金)、3/18(火)、4/26(土)、5/16(金) 役員会
- ・10/22(火) 第1回幹事会
10月 東京支部だより「二葉」第18号発行
- ・2/25(火) 第2回幹事会・特別講演会
- ・26年 5月18日(日)平成26年度 定期総会

2 主な事業 課題への対応

- ①若い世代(男性会員を含む)の会員の拡大
高校30回生以上の会員の把握と同窓会活動参加への働きかけ
- ②二葉同窓会本部との連携
会員名簿の照合と新規加入会員の開拓
- ③同窓会東京支部役員のスムーズな引き継ぎ
- ④時代に対応した会の運営方法への改善
メーリングリスト作成、メールでの情報発信
東京支部同窓会ホームページの検討
総会、役員会等の土日開催
広報紙、総会冊子への広告掲載
- ⑤魅力ある同窓会行事の開催
講演会等の充実 親睦旅行会の検討
- ⑥新たな東京支部活動会場の確保

※2015年(平成27年)アルデ移転 予定

平成二十五年 役員紹介

- ①出身地 ②出身中学校
- ③高校時代の部活等
- ④趣味・関心事
- ⑤東京支部同窓会への抱負

支部長

内田 (上條) 志づ子 (高21回)

- ①岡谷市・今井②岡谷北部中③バスケット部・生徒会長④FC東京・川崎フロンターレのファン⑤東京支部の活性化、魅力ある同窓会に。

副支部長

小松 (小松) 喜久子 (高21回)



- ①富士見町・富士見②長野裾花中③音楽部④手芸・テレビ体操⑤伝統も大切にしながら、若い世代が参加しやすい同窓会にしたい。

副支部長

伊東 (伊藤) みふね (高22回)



- ①茅野市・泉野②長峰中③放送部④茶道・人の生き様⑤気軽に楽しく人生を語れる同窓会に。

副支部長

柏原 (小口) 文子 (高22回)



- ①岡谷市・湊②岡谷北部中③演劇部④水墨画・茶道修行⑤沢山の方が気楽に楽し

く集まれる会に。

会計

小檜山 (藤森) 恭子 (高26回)



- ①諏訪市・小和田②諏訪中③軟式テニス部・茶道部④ヨガ・温泉⑤この先も続けて行ける様、共学になってからの人にも参加してもらえ内容を考える。やはり伝統の二葉である事が必要だと思えます。

会計

熊崎 (宮坂) 文江 (高26回)



- ①諏訪市・小和田②諏訪中③軟式テニス部・写真部④シュガークラフト⑤気軽に参加できる同窓会になればと思います。

会計

杉本 (柳沢) 澄江 (高21回)



- ①茅野市・泉野②長峰中③陸上部④フラダンス⑤東京支部同窓会が若い方が参加

したい会へと変化しつつあることを感じる今日のごころです。

記録

田中 (原田) 淳子 (高31回)



- ①茅野市・ちの②茅野永明中③ギター・マンドリン部④フランス語⑤お引き受けしたからには自分自身も楽しんで活動したいと思えます。

記録

小林 (岩村) 秀子 (高31回)



- ①下諏訪町・東山田②下諏訪中③JRC (青少年赤十字)④街歩き・旅行⑤楽しい交流ができる会になるよう考えて協力していきたい。

記録

持田 (天竹) 康子 (高31回)



- ①諏訪市・赤沼②諏訪中③バドミントン部・生物部④手芸 (畳へリバッグ作り)・乳幼児の読み語り (絵本中心)⑤縁があつて役員を引き受けさせていただきました。同窓会のつながりを通して風通しの良い、和やかな会にしていきたいです。

方々に参加していただける同窓会になりますように。

会計監査

竹本 (松田) 恵子 (高24回)

- ①辰野町②辰野中学校③写真部④映画鑑賞⑤出来るだけ多くの若い

南信同窓連理事 宮川 (落合) 秀世 (高8回)

- ①諏訪市・湖柳町③二葉会役員・社会部・女性史「若き女性のために」など読書会④書道、古文書読解と日本・韓国の近代史⑤同窓会組織の活性化と強化へ寄与したい。

会計監査

岩附 (牛山) 喜美子 (高24回)

- ①茅野市・金沢②長峰中学校③合唱④コーラス・孫と遊ぶこと⑤長く継続していく為には若い世代を取り込むことが急務。

平成25年 諏訪二葉高校同窓会東京支部 代表幹事

卒業 (高校回数)	氏名	旧姓	卒業 (高校回数)	氏名	旧姓
5	太田 令子	北原	24	小林 規子	
6	青木 朋江	武井	25	五味 のりほ	牛山
7	小平 ミキ子	伊藤	26	佐々木 邦子	伊東
8	東(ヒガシ)征	岩波	27	鈴木 泉	河田
9	宮坂 弘子	上原	28	原 素子	
10	三浦 一重	阿木	29	櫻井 佳代子	河西
11	守屋 静子	寺平	30	谷口 文	宮坂
12	小口 靖子	北沢	31	松木 きよみ	山田
13	伊藤 久子	熊井	32	高際 みどり	増田
14	永田 福子	牛山	33	藤森 ゆり子	
15	柴田 百合子	坂本	34	池上 敦子	浜
16	林 園子	吉井	35	新堀 千春	小松
17	竹村 さえ子	佐藤	36	石田 詳子	
18	大高 よし美	小平	37	杉原 佳容	
19	荻部 小百合	松沢	38	大高 さち子	宮坂
21	杉山 久恵	小池	39	大庭 節子	
22	山下 操	林	40	藤井 みさき	太田
23	宇田川美和子	五味	41	津田 恵美	小林

平成25年演
講会総会

『望郷』—姫路広畑俘虜收容所通譯日記

「私たちは何を知っていたか」

柳谷郁子氏（高校8回生）

柳谷郁子さんの紹介

「二葉高校」って本当に素敵です
柳谷郁子さんの温かい眼差し、そして母校愛に満ちた優しいお言葉から、本年度の講演会が始まりました。

講演会のタイトルでもありますが「望郷」 姫路広畑俘虜收容所通譯日記（二〇一一年出版）の著者、姫路市在住の柳谷郁子さんは岡谷市出身、諏訪二葉高校8回生です。早稲田大学卒業後、結婚され姫路でご家庭をしっかりと守りながら数々の作品を執筆されてきました。神戸新聞文芸小説第一回優秀賞受賞、「月柱」で第14回大阪女性文芸賞を、「藤村の海」で第三回小諸藤村文学賞を受賞、同人誌「篝火」の編集長でも活躍です。昨年出版された「十六歳のエチュード 真夏」は、二葉高校一年生の夏休みに書き上げた、初恋の瑞々しさを繊細に表現した小説です。また、来年放映されるNHK大河ドラマ「軍師官兵衛」の絵本、「官兵衛さんの大きな夢」の文を執筆されていて、当日参加者全員に絵本を配ってくださり、「是非ご覧になって盛り立ててくださいね」と紹介されました。

「望郷」が出版されたいきさつ

第二次世界大戦のさなか、広畑捕虜收容所で通訳をしていた田原栄さんたちが書き記し、敗戦後は

焼却処分命令が出されていた「通訳月報綴」を含む「通訳日記」を、田原さんが自宅に隠し置いたまま死去。その後ご家族により発見され、ご子息の田原芳弘さんから柳谷さんに「日記」が託されました。それから十数年後、資料収集やインタビュー取材など大変なご苦労を重ね、「望郷」にまとめられました。それは涙しながらのご執筆だったそうです。

国内捕虜の歴史と姫路広畑收容所での捕虜の暮らし

第一次世界大戦後、收容していたドイツ軍捕虜からは、産業の礎となる近代的な技術や、パン・お菓子作りなどを学んでいます。捕虜を厚遇し、関係はよかったです。ペートーヴェンの第九は、捕虜がお礼に歌ってくれたのがきっかけで日本に広まりました。

しかし、第二次世界大戦中、日本には約130ヶ所も捕虜收容所があり（諏訪にも分所が存在）一般的には捕虜の扱いには未熟で、酷いことをしてきたことばかりが語り継がれています。

一方、広畑收容所では国際法の取り決めに守るべく、米兵捕虜を大切に扱っていました。当時物資が乏しい中にあっても、衛生面の向上に努め、食事や魚やパンなどに入らないような肉や魚やパンなどが調理工夫されて出されていました。それでも物資自体が乏しいので、捕虜にとっては酷い扱いを受



けていると感じたようですが、ゲームに興ずる時間を与えたり、捕虜から苦情を受け付けたら、広畑では捕虜の人権を守るべく精一杯の努力を怠りませんでした。それには、合衆国で培った教養を持ち、米人の生活をよく理解していた、通訳・田原栄さんの存在が大きかったのです。

大切な著書「望郷」

焼却処分命令に背いても隠し持っていた通訳・田原栄さんの勇気、そして偶然発見するも、非常に重要な資料であると判断し、柳谷さんに託したご家族の英知と思慮深さ、そして柳谷さんの魂を削るようなご尽力で「望郷」が世に出て私たちがこうして正確な記録を知ることができるといふことに大変な意味深さを感じます。日本の捕虜收容所のマイナス面ばかりしか知りませんでした。世には出にくい敗戦国の歴史の一事実を伺えて良かったと思うと同時に、戦争は絶対によつてはいけないう柳谷さんの力強いメッセージが心に浸みいるように伝わってきました。

最後に、軍人で三年半のシベリア抑留生活からご帰還、第二の人生も見事に生き抜いて亡くなられた大切なお兄様が書き遺された辞世の言葉を、柳谷さんは涙されながら詠まれました。

本のタイトル「望郷」は、当時日本に連行された捕虜が自分の国を想う気持ちと、お兄様が故郷を想われた気持ちが込められているのだと思います。それはまさに柳谷さんの故郷への思いでもあろうと（諏訪二葉同窓生として身びいきに）感ずるところでした。

柳谷さんのまじめな人間性、深い洞察力と愛情に溢れた思いをこの紙面でうまくお伝えできないのが残念です。諏訪を題材にされた著書は特に興味深いところです。

同期会だより

「あ、二葉 同期会」

三浦一重（高校10回生）
台風17号に追いかけられた忘れ難き同期会。

平成24年9月30日正午、「明治記念館丹頂の間」は華やいだ賑わいに溢れていました。「ええっ？〇〇さん！んまあ、卒業以来じゃあ、50何年ぶり？」

前夜、特急あずさの運休が早々と決定され、故郷から16名キャンセルという動向の報が入りました。各地の役員さんの悲痛な声が電話口に響きます。

「バックに荷物を詰めて行くばかりになっていったの……。」
66名の方が一堂に会するはずだった、東京での10回生同期会。「しらかばの会」始まって以来の最大のイベントが、台風のために

皆様も是非、柳谷さんの「想いの深さ」に触れてみては如何でしょうか。
（小林秀子）

柳谷郁子さんの著書

- 「月柱」（読売新聞社）
- 「夏子の系譜」（三月書房）
- 「風の紋章」「花ざらい」（鬼灯書籍）
- 「諏訪育ち」（三月書房）
- 「望郷 姫路広畑俘虜收容所通譯日記」「十六歳のエチュード 真夏」（鳥影社）
- ほか小説エッセイ多数
- 絵本「官兵衛さんの大きな夢」（絵・本山一城）
- 童謡作詞「いのちつてなあに」（作曲・竹内邦光）ほか

台無しになってしまったのです。しかし、しかし、私達幹事の落胆の思いをひっくり返すような光景が、丹頂の間では展開していたのでありました。参加者50名、再会の喜びに湧き、おしゃべりが止まらない友達。テーブルの上には、同級生が心をこめて活けて下さった花が飾ってあります。

オーブニングはYさんの琴演奏と語り。枕草子より「虫は」が格調高く奏でられます。歓談の後に参加者全員が感慨を述べ合うコーナーに進みました。

「今まで二葉の会を避けていましたが、今日来てみて本当に良かったと思います」という率直なお話もありました。

全員輪になっての感動のフィナーレ。「白き翼」「ふるさと」の合唱で幕。
夕刻、風雨が強くなった頃、去り難く別れ難くロビーで語り合っているグループをあちこちで見か

けました。
参加者全員の無事帰宅を願ひ、遠隔地の方々とは電話で確かめ合い、やっと夜八時過ぎに愛知県弥富町のIさんの「名古屋から近鉄が運休になり、家族に車で来てもらって、今、家にたどりついたので！」という弾んだ声を聞いた時には目頭が熱くなりました。深夜はそれこそ東京も暴風雨に荒れ、台風一過の翌朝は恨めしいような青空です。

支部講演会
特別講演

平成25年2月26日

「老いや死と向き合う心」
—平穏な最期を迎えるために—

石飛幸三氏

講演要旨

最初に映像で紹介されたのは石飛先生が勤務されている芦花ホームで看取られた三宅島のご婦人のケース。次の事例は姉さん女房の奥様の胃ろう手術を断り、自ら食事介助を続けたご主人の治療の選択。その穏やかな看取りは、介護士さんたちの意識を変えました。

半世紀にわたり最先端外科医として活躍、エリート街道まっしぐらだった石飛医師は特別養護老人



☆行けなくて、残念、無念。
☆会えて良かった。楽しかった。
☆やって、良かったね！
この三者三様の言葉に集約された感の「東京・二葉10回生同期会」

やむなく「欠席」のハガキを下さった方々をも含めて、全ての同期生が寄せて下さった熱い心に感謝！心よりお礼申し上げます。
嗚呼「二葉精神」健在なり！

平成24年 晩秋の多摩にて

○医学は進歩し、テクノロジは発展し、医療保険制度も整備され、人間の寿命はのびていく。しかし、そこに自然の摂理はあるのだろうか。
○未来のある年齢なら新しい治療をどんどん行うべきである。でも、年をとり口から食事ができなくなった高齢者は治療が返ることのできるのか。
○老年医学の分野でも死にいたる実態は解っていない。最期を迎えるときに我々にはどんな役目があるのか。

人間は機械じゃない。老衰、老いて死んで行く、人生最大のこの自然の摂理の問題をみんなできちんと考えるために弁護士さんと共に「平穏死」という言葉を作り定義づけました。

石飛先生の講演をきいて

「平穏死」って何？と実感のわからないまま、幹事会直前に慌てて「平穏死のすすめ」を読み、予習して講演会に臨みました。講演会で石飛先生は語る人でした。

介護士さんが講演の締めを使うよう先生に託した映像を見ながら私は実家で亡くなった祖父母を、九十歳、百歳を過ぎて胃ろう手術をした義母、義父を思い、実家の両親を思うかべました。

これから、母の尊厳死カードを冷静に受け入れることができるか課題が残るところです。
会場誰かが自身の体験と先生のお話を重ね合わせて、限りある命をどう生きるか、思いをめぐらせ、感無量だったと思います。

講演後の質問タイムでも多くの方が介護のご苦労や看取りのときの葛藤を話され、自分の判断につ

いて確認されていました。
さすが二葉生、すでに講演の内容に応じるように、考え、実践し、行動されているのだと改めて感じました。

石飛先生は今潮目が変わってきており、平穏死が受け入れられてきていることを断言されました。先生の最後のお言葉です。

「だって、人間の問題じゃないですか、みんな声をあげ、老いや死を考えていきましようよ。やりましようよ。」
飄々とした言葉には優しさ、温

傘寿の方からのメッセージ

(高校4回生)

岩波道子

皆様の献身的なご努力により同窓会が開催されると思えました。感謝の気持ちで一杯です。級友と共に学んだ学生時代が懐かしく思い出され楽しく有意義な一日でした。有難うございます。これから同窓会の発展を心からお祈り申し上げます。

高山栄子

私達高校四回生は旧制から新制に変わる過渡期で六年間を二葉で過ごさせていただきました。時代の背景とあつてか校訓そのままを素直に受け入れ、むしろ誇りを持って過ごして来た様に思います。時代の流れの中にあつても今もその教えが心のどこかに残っているような気がします。

他人との関係が希薄になりつつある昨今、二葉で過ごした共通の繋がりが心を呼び合ひ、「四つ葉会」は卒業以降欠かす事無く楽しい集いを続けて参りました。小規模になりましたが、これからも残りの人生を明るく過ごして行きた

かさが溢れていました。(谷口文)

講師プロフィール

特別養護老人ホーム「芦花ホーム」常勤医。
一九三五年、広島県生まれ。
診療の傍ら、講演や執筆、メディアを通して、終末期の看取りのあり方についての啓発に尽力している。
著書に「平穏死のすすめ」口から食べられなくなったらどうしますか(講談社)、「平穏死」という選択(こうして死ねたら悔いはない)(幻冬舎ルネサンス)がある。

小山(伊東)ルリ子

いと思っています。
諏訪の二葉の卒業生なのだから、そんなことをしたらその誇りが許さない。そういう心の有り様でした。卒業してからももう六十二年という気の遠くなるような月日が流れました。しかし、この空の下何処かに住んで何十年経とうが二葉の二文字は脳裡を離れません。何か苦難に遭遇した時、人と人とのわだかまり、子育ての壁、二葉精神の誇り、心の力が解決を導き出してくれました。ふるさとにはありがたきかな、母校はありがたきかな。合掌

西村君子

昭和一九年八月、叔母との縁で茅野へ疎開しました。終戦を経て二十一年春、先生の薦めで諏訪高女に入学しそのまま六年間通い卒業しました。二葉の良い教育等に恵まれ幸せな日々でした。東京の同窓会にも度々出席させて頂き、共に学んだ皆様とお会いでき、ひと時を娘時代に帰りました。そしてこの度は八十歳のお祝いにお花を頂き有難うございました。

平成26年 東京支部総会のお知らせ

日時：平成26年5月18日（日）10：30～15：00
会場：日本青年館（新宿区）4F ホテル宴会場「アルデ」 ☎03-3475-2525

- 1 総会
2 講演 講演講師：笠井信輔氏（フジテレビアナウンサー）
演題 「テレビ局と私の内緒話」
3 茶話会
今井由美子氏（高校25回生・声楽家）のミニコンサート
会費：5000円（昼食パーティー）



※総会参加申込は平成26年3月末、往復ハガキでご案内します

耳寄り情報…どうせ行くなら二葉生のお店…

順不同（カッコ内は旧姓）

Table with 2 columns listing various establishments like '白樺リゾート池の平ホテル', 'はるカフェ', '甘味処 花家(はなや)', '古民家五明荘', 'イタリア田舎料理 DANLO', '衣・食・住・Meri Hari' with their addresses and phone numbers.

今年は試みとして同窓生の居る施設やお店の情報を役員の持つ資料の中から掲載いたしました、次号からは広告として掲載を検討中です。二葉の同窓生に関わるもののみ、ジャンルを問わず幅広く情報を掲載していく予定です、皆様からの情報提供をお待ちしています。

事務局だより

☆支部便りの発行を昨年より十月にし、過去五年以内に一度でも維持費を納入した方にお送りしました。
☆東京支部は年千円の維持費で活動しています。同封の青の払い込み用紙にて納入にご協力下さい。なお、本部維持費とは別納入です。

編集後記

☆今年も昨年に引き続き東京支部の改革に努めています。
☆老親の介護や子育て支援、また仕事をしながらも楽しい活動を目指しています。
どうぞ皆様のご支援ご協力を宜しく願います。

☆お忙しい中、原稿執筆にご協力いただき有難うございました。

《役員の連絡先》

Table with 2 columns: Position (e.g., 支部長, 副支部長) and Contact Info (TEL, FAX, phone numbers).

各学年幹事の連絡先等もお問い合わせください。

- 名取 つね様 (北原) 高女20回
石田みさを様 (藤森) 高女20回
林 佐季子様 (小林) 高女22回
宮坂みえ子様 (伊東) 高女22回
高谷美代子様 (宮阪) 高女23回
藤巻ます子様 (飯島) 高女23回
藤森 政子様 (藤森) 高女23回
北沢 きみ様 (藤森) 高女24回
飯尾 津太様 (中沢) 高女24回
高見 典子様 (佐伯) 高女24回
北村 滋子様 (尾沢) 高女25回
浜 あや子様 (小島) 高女25回

謹んでご冥福をお祈りします。
H24年9月～H25年8月までにご連絡をいただいた方々です。
※平成24年10月の全会員広報誌発送により多くの方からご連絡をいただきました。

- 布施 やす様 (佐藤) 高女30回
北川 米子様 (小林) 高女31回
金原 糸子様 (久保) 高女31回
神谷 和子様 (丸茂) 高女31回
三浦すみ様 (平林) 高女31回
上島たせ子様 (吉川) 高女32回
関野 タツ様 (増沢) 高女32回
神宮寺真喜子 (神宮寺) 高女32回
中山登美子様 (小池) 高女32回
増沢 和子様 (原) 高女32回
伊沢きみ子様 (伊沢) 高女33回
佐藤 真砂様 (伊藤) 高女33回
林 君子様 (平林) 高女34回
高橋ひさ子様 (片倉) 高女34回
飯倉あづま様 (藤原) 高女35回
野澤 重子様 (三澤) 高女35回
宇治橋 貴子様 (新村) 高女35回
椿 節子様 (牛山) 高女36回